

九里学レポート



是非、皆さんのお声を聞かせてください。

平成22年度県政経営の基本方針

☆県政を取り巻く現状と課題☆

- ・雇用情勢が悪化する中で依然として厳しい状況
- ・第2次産業の割合の高さで、不況の営業が大きい
- ・平成22年度において230億円財源不足。それ以降も300億円を超える財源不足

☆県の使命☆

- ・経済・雇用、医療や災害、地球温暖化などへの不安を安心に変える政策
- ・経済の多角化、多様化を進め、より内需を高めるとともに、雇用を創出する政策
- ・「支え合い」「分かち合い」「高め合い」

～基本構想の戦略的な取組～

- ・平成22年度は、現「基本構想」の計画最終年度
- ・重点テーマを設定し、基本構想の実現に戦略的に取り組む

①県民の「生命」を守り、「不安」を「安心」に変える

- ・保健医療・福祉提供体制の整備
- ・人を守る、地域を守る災害に強い安全な地域づくり

②社会で子育て、子育てを支える

- ・地域が関わる子育て、子育ての環境づくり

③琵琶湖を守り、地球を守る

- ・琵琶湖の水環境および生態系の保全と再生に向けた取組の推進
- ・地球温暖化対策の推進

④未来につながる、ブランド力を生かした元気な産業を育てる

- ・環境関連産業をはじめとする地域に根ざした産業の創出・育成・集積
- ・滋賀の特性を活かした観光の推進

⑤誇りと生きがいの生まれる雇用を創る

- ・人と人がつながる事業、成長が見込まれるサービス産業、水と緑の雇用事業の推進



～県政経営の視点～

- ・協働の推進
- ・地方分権改革の推進と地域分権の自治の確立
- ・県庁力の最大化

くのり学の活動をホームページで是非ご覧下さい!
<http://www.9ri.jp>

～財政構造のさらなる見直しへの取組～

- ・財源不足、基金残高が50億円程度となることを考え併せると、「危機的な状況」
- ・県有資産の利活用、施策や事業の見直しを行うなど、歳入歳出両面の取組
- ・重点テーマを踏まえ、選択と集中の徹底を図り、創意工夫とメリハリある予算編成



www.9ri.jp